

はじめに

概要

このカリキュラムでは、生成AIを効果的に活用するための「プロンプト」について深く学習します。

本カリキュラムの目標

- プロンプトの基本概念と重要性を理解する
- 効果的なプロンプト作成の4要素を習得する
- AIアプリ開発におけるプロンプトの役割を把握する
- 実際にプロンプトを作成・活用できるようになる

プロンプトの基本を学ぼう



Claude Codeを使ってきたけれど、もっと良い結果を得るためにどうすればいいのかな？

いい質問ですね！それはプロンプトの質に大きく関わってきます。プロンプトについて詳しく学んでいきましょう。



1. プロンプトとは

❶ プロンプト

AIに対して指示を与えるための文字列や文書のこと。AIが生成する結果の質に大きく影響する重要な要素。

生成AIが普及した今、プロンプトの活用が注目されています。
その背景には、AIが提案するアイデアや解答の質が、
与えるプロンプトの質に大きく依存するという事実があります。

なぜプロンプトが重要か

プロンプトは、AIとのコミュニケーションの起点です。

質の高いプロンプトを使用することで、AIから得られる情報の精度が向上します。

例えば、具体的な指示を含むプロンプトを用いることで、
AIはそれに応じた具体的な回答を提供する確率が高くなります。

プロンプト作成のポイント

初心者でも効果的なプロンプトを作成するためのポイントがあります。
まず、質問や依頼内容を明確にすることが大事です。

あいまいなプロンプトでは、得られる回答も的外れなものになります。

次に、具体的な要素や条件を盛り込むことで、
AIに期待する具体的な結果を示すことができます。

さらに、目的を明確にするため、
文章の最後に具体的なアウトプットの例を追加すると効果的です。

詳しくは、本章の後の項で詳しく紹介します。

プロンプトのスキル

質の高いプロンプトは新しい価値の創出に直結します。

からの時代、プロンプトのスキルを磨くことが、あらゆる可能性を広げる重要な要素となることは間違ひありません。

プロンプトを賢く活用することで、AIの力を最大限に引き出し、現代の創作活動において、真の強みを発揮していきましょう。



プロンプトの質で結果が変わるなんて、知らなかった！

そうなんです。同じAIでも、プロンプト次第で全く異なる結果が得られることがあります。これからその方法を学んでいきましょう！



AIアプリ開発にあたって

プロンプトの知見は、AIチャットボットなどのAIアプリを開発する際にも活かされます。

**人間の意図を理解して適切な応答を生成するために、
AIアプリのアウトプット結果には、プロンプトの内容と質が影響します。**

プロンプトの効果的な設計は、アプリのユーザー体験を大きく左右します。

AIアプリを開発する際は、その性能を高めるために、ユーザーの意図やニーズを深く理解した上で、正しく論理的に言語化し、それを反映したプロンプトを設計する必要があります

こうしたスキルは、よりインタラクティブで満足度の高いAIアプリを実現するために不可欠であり、競争が激化する市場での差別化にもつながります。

プロンプトの知識は、開発における創造性を引き出す重要な鍵となります。

2. プロンプトの方法論

プロンプトの書き方については、様々な方法論があります。

ここでは、本講座で推奨するアプローチを紹介します。

本講座では、AIの特性を踏まえて、以下の4つを重要な要素として挙げています。

要素	内容	説明
要素1	目的・ゴール -PURPOSE-	何を達成したいかを明確化
要素2	コンテキスト -CONTEXT-	背景や状況を具体的に説明
要素3	具体的な問い合わせ -QUESTION-	率直かつ具体的な質問
要素4	アウトプット要件 -OUTPUT-	希望する回答形式を指定

ひとつずつ見ていきましょう。

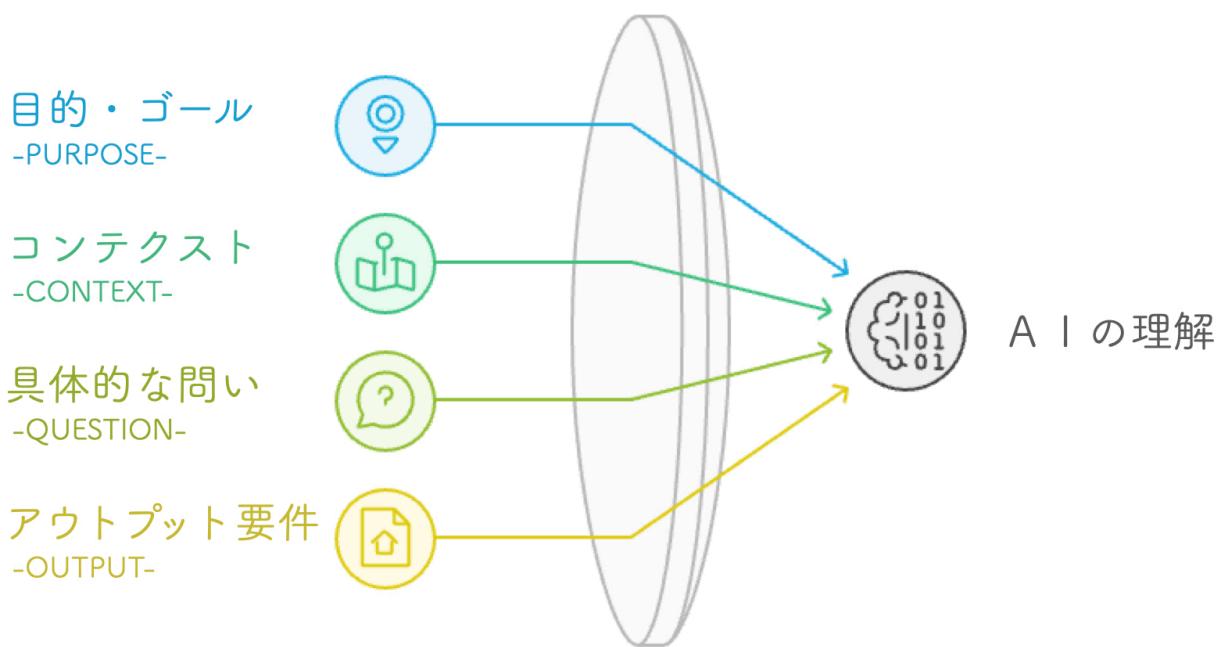


4つの要素があるんですね。覚えられるかな…

大丈夫！実践しながら覚えていけば、自然に身につきますよ。



プロンプトの4要素



要素1：目的・ゴール -PURPOSE-

プロンプトを書く際に自分が何を達成したいのか、目的をはっきりとさせましょう。

目的が明確であれば、生成された内容が自分のニーズに合ったものになります。
目的の確認はプロンプト作成の第一歩です。

◎考え方のポイント

- 何のために情報を得たいのかを整理する。
- 結果をどう利用したいのかを明確にする。

◎例

- 文化祭のクラスの出し物を成功させるための企画を考えたい
- 定期テストで効率よく勉強するための新しい方法を知りたい

要素2：コンテキスト -CONTEXT-

あなたが置かれている状況や、その質問に至った背景を添えることで、より具体的で有用な答えを得やすくなります。

あなたのコンテキストを伝えることで、A Iはあなたの意図や文脈について理解しやすくなり、より適切にパーソナライズされた情報を提供できるようになります。

◎考え方のポイント

- 自分の状況やニーズを簡潔に説明する。
- 特定のデータや状況を加えることで、より良い結果を得る。

◎例

- 私のクラスは36人で、予算は5万円です。
文化祭の来場者は主に同世代の高校生と保護者です。
- 最近、部活が忙しくなって、1日の勉強時間が2時間に減りました。
そこで、限られた時間で効率的に学習する方法を探しています。

要素3：具体的な問い合わせ -QUESTION-

そもそもどんな回答をして欲しいのか、
質問や依頼そのものについては、率直かつ具体的に表現するよう心がけましょう。

核となる問い合わせ 자체を、いかに具体的に言語化できるかによって、A Iから得られる応答の精度は大きく変わってきます。

曖昧な質問は、あいまいな返答につながるため、注意が必要です。

◎考え方のポイント

- 知りたい情報を具体的に引き出す形で質問する。
- どんな種類の情報が必要かを考える。

◎例

- × 文化祭の企画を教えて！
→ 少ない予算でも盛り上がる教室展示のアイデアを教えて！
- × 勉強を効率化したい！
→ 2時間で数学と英語を両方勉強するためのスケジュールを作って！

要素4：アウトプット要件 -OUTPUT-

情報の出力形式や条件を指定することによって、
あなたが希望するスタイルでの回答を生成してもらいましょう。

どういった形で回答が欲しいのかを具体的に明記することが重要です。

◎考え方のポイント

- どんな形式で情報を得たいかを具体的に伝える。
- 例えば、文字数、書式、文体や口調、箇条書きの指定など。

◎例

- ○○について10案、箇条書きで提案して！
- ○○について理解しやすい平易な表現をつかった400文字程度の文章にして！

これらの要素を、必ずプロンプトに組み込むべきということではありません。

必要に応じて、依頼内容にどのような要素を組み込んだらいいか、
自分自身で、都度、考える必要があります。

明確な目的を持ってAIを活用する経験をしていない段階では、
あまりピンとこないかもしれません。

しかし、これらを意識しながらAIを使っていくうちに、
だんだんと、コツが掴めるようになっていくはずです。



4つの要素を意識して、今度Claude Codeにプロンプトを送ってみよう！

いいね！実際に使ってみることで、プロンプトのスキルがどんどん向上しますよ。

